

4月23日 都市消防委員会（田口一登議員・さはしあこ議員）

# 名古屋城天守閣を「魅力的」に見せるため 名古屋城眺望景観保全の「景観計画変更」で建物等を規制

5月10日の都市消防委員会で、「名古屋城眺望景観保全」について説明がありました。

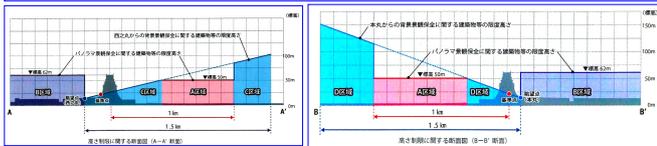
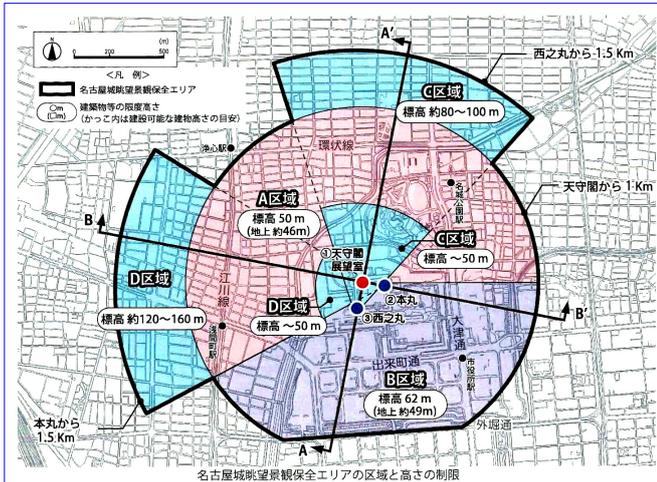
## 景観法に基づく「景観計画」

2004年の景観法施行をうけ2007年に市内全域を景観計画区域とする「名古屋市景観計画」が策定され、景観保全に努めてきましたが、名古屋城周辺の市街化の進展に伴い高層建物による景観の阻害へが懸念されることとなったため「景観計画」を変更し、「名古屋城眺望景観保全に関する制限等」を追加することにしたというものです。

## 天守閣から高層ビルが見えないよう

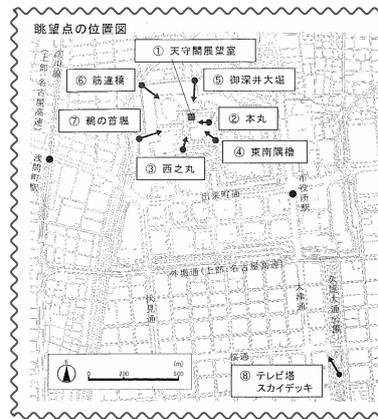
2014年に、広告・景観審議会に「名古屋城眺望景観保全」について諮問し、2015年に答申をうけて制度設計を進めてきましたが、その中で明らかになった課題等について、さらに2017年に「景観計画の変更」について諮問、2018年3月に答申を受けたものです。

答申をもとに名古屋市としての案（名古屋市景観計画の変更案）が取りまとめられ、都市消防委員会に説明がされたものです。（図表参照）



### 名古屋城眺望景観保全エリアの設定

- ・天守閣から眺めて遠景の山並みなどが阻害されないよう、1kmまでの範囲で、北側のA区域では50m、南側のB区域は天守閣の高さ62mを超えないようにする（パノラマ眺望）。
- ・天守閣を歴史的な雰囲気で見えるよう建物や看板等を1kmまで制限、西の丸と本丸から見える地点は1.5kmまで制限（背景景観）。
- ・テレビ塔スカイデッキから天守閣が見えるように（見通し景観）。



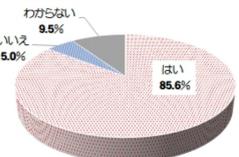
天守閣からの眺望と、天守閣を眺める時の7つの眺望点で景観を保全する。（写真上は③、下は④）



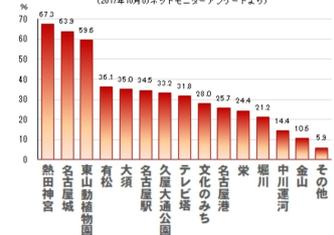
## 好きな景観は熱田神宮、名城、東山（ネットモニターアンケート）

さはし議員が市民意見をよく聞いて進めることを求め、昨年10月実施のネットモニターアンケートの結果を質問したところ、85%の人が景観保全に好意的な答えでした。

名古屋城の眺望景観を守ることは必要ですか  
(2017年10月のネットモニターアンケートより)



好きな景観・大切にしたい景観はどこですか  
(2017年10月のネットモニターアンケートより)

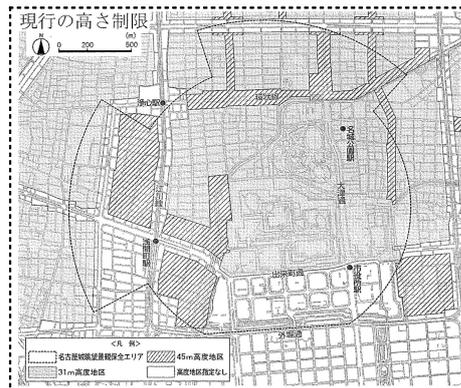


名古屋城はどこから見た景観が好きですか  
(2017年10月のネットモニターアンケートより)



## 5月15日からパブコメ

今後、5月15日～6月15日にパブリックコメントが行われ、7月ごろに都市計画審議会への意見聴取などの手続きが行われ、9月ごろに景観計画変更の告示、屋外広告物条例施行規則の改正が行われたのち、今年度中に施行される予定です。（計画変更案の概要は市のウェブサイトから閲覧できます。）



現状でも名古屋城周辺は31m高度地区や45m高度地区に指定され、新たな景観保全エリアで規制される地域は西部の一部地域になっています。